

〔共同研究：書誌的研究法の考察と展開〕

## 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究

## (その4) — 荷風の読書遍歴書誌 4 —

志 保 田 務\*  
赤 瀬 雅 子\*\*

今般扱う、昭和3年初めから昭和8年末までの荷風の主作品は、日誌である。留学期の若い時分から書き続け、まとまった発表は遙か後の第二次世界大戦終結後のことではあるが、自由に作品を発表することもはばかれたこの時代に関しては、これを書き記していたことそのことが、ことさらに重い意味を持っている。

当初の昭和3年のころは、荷風の生活の拠点である東京という大都市が、関東大震災の痛手、貧苦から立ち直る兆しを見せる一方、15年戦争がくすぶり始め、第一次山東出兵を皮切りに、市民は徴兵、応召という過酷を課せられることとなる。更に、三・一五事件、満州事変、上海事変、五・一五事件と続き、昭和8年には、「赤化教員」の一斉検挙、滝川事件等もあって、暗雲たちこめるただならぬ年代となる。

プロレタリア文学の取締り、特に小林多喜二の虐殺は、文学者における本心からの表現を奪い取っていた。

こうした無残な時代を、秘かに、しかし克明に記録し続けた荷風の行動は、作家としての「弱さ」以上に、背骨の強靱さ、冷徹な目の所有ぶりを証明するものと言えよう。

極限の精神環境の中で、新しく読もうにも気の効いた洋書などはもはや何ひとつ入手できない時勢であった。そこで荷風は地味な読書に身を入れる。

具体的には、大田南畝の著作などから“文学とは何か”について掘り返し、“文学はいかに書くべきか”についてアンドレ・ジッドの原典から再確認した。日記上の読書記録から、こうしたことを見て取ることができる。

## 凡 例

(詳細は本誌 Vol.12 No.3 所載)

## I 拠点

『荷風全集』第1巻(1962年)～第28巻(1965年)、補巻・第29巻(1974年)岩波書店。

## II 記載事項

## 1. 読書関係事項

- .1 年月日：原則としてその対象作品名をなっている荷風の著作の初出の年月日。ただし脱稿の日付がふされそれが発表の日付よりも2年以上先立つものである場合は、脱稿の年月日を記載した。なお脱稿と発表の年月日に相当の間隔がある場合は、それぞれ注で脱稿または発表の日付を補った。

- .2 読書作品：荷風による記載の形に従って著者・作品名の順に示す。

## 2. 典拠関係事項

- .1 巻・頁：当該読書作品を所載する上記『荷風全集』の巻次、頁。
- .2 読書作品を所載する荷風の著作のタイトル。編集タイトルの場合を含む。

3. 注：注は稿末にまとめた。荷風の文中からの抽出文には「 ” 」(引用符)で囲んだ。

\* 本学社会学部教授

\*\* 本学経済学部教授

## 荷風の読書遍歴書誌(4)

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
S. 戊辰歳	「上田敏著述全集」	26:479	雑草園其三:序跋其他:文学博士上田敏著述全集広告文
S. 戊辰歳	上田敏「渦巻」	26:480	〃 : 〃 : 〃
S. 戊辰歳	〃 「詩聖ダンテ」	26:480	〃 : 〃 : 〃
S. 戊辰歳	〃 「文芸論集」 <sup>1)</sup>	26:480	〃 : 〃 : 〃
S. 戊辰歳	〃 「みをつくし」	26:480	〃 : 〃 : 〃
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	市河泰庵「燼録」 <sup>3)</sup>	16:407	荷風随筆:市河先生の燼録
S. 3. 正月元日	巖谷小波「金色夜叉真相」	20:203	断腸亭日記巻十二
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	曳尾庵「わが衣」	16:422	荷風随筆:巷の声
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	大窪天民(詩仏)の詩集 <sup>5)</sup>	16:415	荷風随筆:雀
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	小川頭道「塵塚談」	16:422	荷風随筆:巷の声
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	北原白秋「雀の卵」	16:414	〃 : 雀
S. 3. 正月12	木村富子脚色「すみだ川謄写摺」	20:206	断腸亭日記巻十二
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	久保田万太郎「浅草」 <sup>6)</sup>	16:426	荷風随筆:中村さんに質する文
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	山東庵京伝「腹筋鸚鵡石」	16:413	荷風随筆:雀
S. 3. 正月23	「七部婆心録」(俳諧註釈集所載)	20:210	断腸亭日記巻十二
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	“竹の雪落ちて夜啼く雀かな”	16:414	荷風随筆:雀
<sup>4)</sup> S. 3. 1. 不	中村武羅夫(「読売新聞」[昭和二年]十一月六日と七日)	16:423	〃 : 中村さんに質する文
S. 3. 正月21	「俳諧註釈集」	20:209	断腸亭日記巻十二
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	百明“雀子や掌に見る死ふとり”	16:414	荷風随筆:雀
S. 3. 正月4	「鵬斎先生文鈔」	20:204	断腸亭日記巻十二
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	松尾芭蕉“雀子と声なきかはす鼠の巢”	16:415	荷風随筆:雀
<sup>2)</sup> S. 3. 1. 不	嵐雪“元日や晴れて雀のものがたり”	16:414	〃 : 〃
S. 3. 正月16	コレット「シェリイ」 <sup>7)</sup>	20:207	断腸亭日記巻十二
S. 3. 正月26	ボアレージュ「二人の小説家」 <sup>8)</sup>	20:212	〃
S. 3. 正月25	ボワレーヴ, ルネエ	20:211	〃
S. 3. 2. 26	市川団十郎(九世)「旅日記」 <sup>9)</sup>	20:226	〃
S. 3. 2. 10	上田敏 <sup>10)</sup>	20:218	〃
S. 3. 2. 26	蒲生襲亭「近世偉人伝」	20:224	〃
S. 3. 2. 2	鳩谷の文鈔 <sup>11)</sup>	20:213	〃
S. 3. 2. 13	晋永機「みゝな草」	20:219	〃
S. 3. 2. 不	「大衆文学全集松本泰集」	26:478	雑草園其三:序跋其他:大衆文学全集松本泰集序
S. 3. 2. 4	東花坊「俳諧十論」	20:214	断腸亭日記巻十二
S. 3. 2. 12	成嶋柳北「禁獄絵入新聞」	20:219	〃
S. 3. 2. 22	〃 「航薇日記」	20:224	〃
S. 3. 2. 12	〃 「獄中詩藁」	20:219	〃
S. 3. 2. 11	成嶋柳北先生文書	25:263	書簡集

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 3. 2. 不	沼波瓊音「青か紫か」(短篇小説)	26 : 159	雑草園其三：新年の雑誌界其 他：沼波瓊音氏
S. 3. 2. 不	〃 「縁先にて」(感想録)	26 : 159	〃 : 〃
S. 3. 2. 不	〃 「紅の雲」(短篇小説)	26 : 159	〃 : 〃
S. 3. 2. 不	〃 「護法の神児島惟謙」	26 : 159	〃 : 〃
S. 3. 2. 不	〃 「三十六詞人」(文)	26 : 159	〃 : 〃
S. 3. 2. 不	〃 「日曜日」(長詩)	26 : 159	〃 : 〃
S. 3. 2. 7	「俳諧古今抄」	20 : 216	断腸亭日記卷十二
S. 3. 2. 6	「俳諧十論発蒙」	20 : 216	〃
S. 3. 2. 21	三田村鳶魚編「未刊随筆百種」	20 : 223	〃
S. 3. 2. 14	嵐雪「俳諧玄峯集」	20 : 220	〃
S. 3. 2. 19	ボワレエブ「マモウゼルクロック」	20 : 222	〃
S. 3. 3. 15	「義字集第三編」(近世偉人伝)	20 : 232	〃
S. 3. 3. 28	式亭三馬	20 : 236	〃
S. 3. 3. 31	高田与清「相馬日記」	20 : 238	〃
S. 3. 3. 28	寺門静軒「繁昌記」	20 : 236	〃
S. 3. 3. 4	「東京通信」 <sup>12)</sup>	20 : 229	〃
S. 3. 3. 30	松崎慊堂「接鮮紀事」	20 : 237	〃
S. 3. 3. 27	三田村鳶魚編「随筆事々録」	20 : 236	〃
S. 3. 3. 8	兪曲園「東瀛詩選」	20 : 230	〃
S. 3. 4. 8	大之保霞城“佐竹天樹院公の伝”	20 : 241	〃
S. 3. 4. 4	雑誌「汲古」	20 : 239	〃
S. 3. 4. 19	「琴峯詩鈔」	20 : 245	〃
S. 3. 4. 16	「放翁詩鈔」	20 : 244	〃
S. 3. 4. 4	「松の葉」	20 : 239	〃
S. 3. 4. 11	「森鷗外全集」	20 : 243	〃
S. 3. 4. 4	八九間雨柳の句集	20 : 239	〃
S. 3. 4. 29	頼山陽「山陽遺稿」	20 : 248	〃
S. 3. 5. 20	大田蜀山人自筆草稿 <sup>13)</sup>	20 : 251	〃
S. 3. 5. 21	佐藤牧山の文鈔	20 : 251	〃
S. 3. 5. 8	貧幸先生「多佳余字辞」	20 : 250	〃
S. 3. 5. 不	ヴェルレーヌ, ポール	26 : 161	雑草園其三：新年の雑誌界其 他：上田敏先生
S. 3. 5. 不	コツペエの戯曲 <sup>14)</sup>	26 : 160	〃 : 〃
S. 3. 5. 不	シュリイプリユドム	26 : 161	雑草園其三：新年の雑誌界其 他：上田敏先生
S. 3. 5. 不	ゾラの小説 <sup>15)</sup>	26 : 160	〃 : 〃
S. 3. 5. 不	デューマ「椿姫」 <sup>16) 17)</sup>	26 : 160	〃 : 〃
S. 3. 5. 不	ユーゴーの短篇小説 <sup>18)</sup>	26 : 160	〃 : 〃
S. 3. 6. 19	大曲駒村 <sup>19)</sup>	20 : 262	断腸亭日記卷十二下

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
S. 3. 6.30	「菜根譚」	20:267	断腸亭日記卷十二下
S. 3. 6.19	服部誠一「柳巷新史」	20:262	〃
S. 3. 6.16	籾山梓月「伊香保日記」	20:261	〃
S. 3. 6.16	〃 「鎌倉日記」	20:261	〃
S. 3. 6.12	森鷗外全集中のギョオテ伝	20:261	〃
S. 3. 6.18	森静男「仮死論」 <sup>20)</sup>	20:262	〃
S. 3. 7.25	上田敏「文芸論集」	20:276	〃
S. 3. 7.16	上田柳村「ダンテ」	20:275	〃
S. 3. 7.16	上田柳村「耶蘇伝」	20:275	〃
S. 3. 7.13	「史記倭倅伝」	20:274	〃
S. 3. 7. 9	雑誌「女性苦楽」	20:270	〃
S. 3. 7.29	松崎慊堂「随筆敬作所偶得」	20:277	〃
S. 3. 7.15	〃 「随筆風法華」	20:274	〃
S. 3. 7.30	村上珍休「函峯文鈔」 <sup>22)</sup>	20:277	〃
S. 3. 7. 7	森鷗外全集の中ハウプトマンの伝	20:269	〃
S. 3. 7.28	Stacy, E. 「Sir Roger L'Estrange's Fables with morals and reflec- tions in English Verse」 <sup>23)</sup>	20:276	〃
S. 3. 8.18	「山陽書後題跋」	20:280	〃
S. 3. 8.18	「竹田荘自画題語」	20:280	〃
S. 3. 8. 5	三田村鳶魚編「随筆まさきのかつら」	20:279	〃
S. 3. 9.18	石津賢「近事紀略」	20:289	〃
S. 3. 9.15	宇田川榕庵及興齋手沢本	20:288	〃
S. 3. 9.10	「享保通鑑」	20:287	〃
S. 3. 9.24	“東条琴台の伝” <sup>24)</sup>	20:290	〃
S. 3. 9. 5	「長崎談叢第二輯」	20:286	〃
S. 3. 9. 7	成島柳北“伝記手帳西洋綴雑記帳”	25:265	書簡集
S. 3. 9.15	山本北山“手澤稟本”	20:288	断腸亭日記卷十二下
S. 3. 9.25	レニエー「L'Altana (エネチャ遊記ア ルタナ)」 <sup>25)</sup>	20:290	〃
S. 3. 9.25	レニエー「詩集 Flamma tenax」	20:290	〃
S. 3.10. 6	「飯沼詩鈔」 <sup>26)</sup>	20:292	〃
S. 3.10.15	田宮如雲「桂園遺稿」	20:294	〃
S. 3.10.19	成嶋柳北「明治泉譜」	20:294	〃
S. 3.10. 8	藤森弘庵「如不及斎文鈔」	20:292	〃
S. 3.10.10	松本萬年「田舎繁昌記」	20:293	〃
S. 3.10.21	和氣行蔵「柳斎筆記」	20:294	〃
S. 3.11.10	市河寛齋「談唐詩選」	20:299	〃
S. 3.11. 3	「江戸名園記」	20:297	〃
S. 3.11. 8	小山田与清「浜の松葉」	20:298	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 3.11. 5	海保漁村「伝経廬文鈔」	20：298	断腸亭日記卷十二下
S. 3.11.30	太宰春台「紫芝園漫筆」	20：301	〃
S. 3.11.29	円正恭「秋田遊紀雪の降道」	20：301	〃
S. 3.12. 1	蒲生精庵「巽亭文鈔」	20：301	〃
S. 3.12.10	「孝経」	20：303	〃
S. 3.12. 3	古賀侗庵「非詩話」	20：303	〃
S. 3.12.18	佐藤牧山「牧山楼詩鈔」	20：305	〃
S. 3.12.22	聯赤城「雲遊後録」	20：307	〃
S. 3.12.25	荘子	20：308	〃
S. 3.12. 8	西島坤斎「慎夏漫筆」	20：303	〃
S. 3.12.15	老子	20：305	〃
S. 3.12.25	鷲津毅堂「親燈余影」	20：308	〃
S. 4.不 不	雑誌「赤本屋」	26：484	雑草園其三：序跋其他：雑誌赤 本屋第一号題言
S. 4.正月 8	「淮南子」	20：314	断腸亭日記卷第十三
S. 4.正月 7	大田蜀山人「随筆麓のちり」	20：314	〃
S. 4.正月 7	塩田随斎の遺藁	20：314	〃
S. 4.正月元日	「列子」	20：313	〃
S. 4. 2.21	笄阜子の草藁「茜雲」	20：323	〃
S. 4. 2.26	「荀子」	20：323	〃
S. 4. 2.27	関根只誠「名人忌辰録」	20：323	〃
S. 4. 2.12	「墨子」	20：322	〃
S. 4. 3.23	「有喜世新聞」(明治13年の部)	20：328	〃
S. 4. 4.11	大曲駒村「枯檜庵句集」	20：331	〃
S. 4. 3. 2	「韓非子」	20：324	〃
S. 4. 3.27	菊池寛編「雑誌文芸春秋」	20：328	〃
<sup>27)</sup> S. 4. 4.朔稿	菊池寛	16： 37	荷風文藁：文芸春秋記者に与る の書
S. 4. 4. 4	信夫怨軒遺藁	20：330	断腸亭日記卷第十三
<sup>27)</sup> S 4.. 4.朔稿	「文芸春秋」	16： 37	荷風文藁：文芸春秋記者に与る の書
S. 4. 4.13	「文選」	20：332	断腸亭日記卷第十三
S. 4. 6.28	「有喜世新聞」(明治14年の部)	20：347	断腸亭日記卷十三下
S. 4. 7.10	「 〃 〃 」(明治15年の綴込)	20：349	〃
S. 4. 7. 3	笄阜子「御物」	20：347	〃
S. 4. 7.13	古賀精里「文集初編」	20：350	〃
S. 4. 7.18	中村敬宇「敬宇文集」	20：350	〃
S. 4. 8.27	江島其磧「兼好一代記」	20：356	〃
S. 4. 8.11	中村敬宇の詩文集	20：353	〃
S. 4. 8.23	「編年日本外史」	20：355	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 4. 8.25	山本亀田鵬斎「酒仏抄楽経」	20：359	断腸亭日記卷十三下
S. 4. 8.31	六樹園「飛弾匠物語」	20：357	〃
S. 4. 9. 9	井原西鶴「懐硯」	20：358	〃
S. 4. 9.12	春海「竺志物語」	20：357	〃
S. 4.10.24	菊池三溪「東京写真鏡」	20：365	〃
S. 4.10.22	「乍浦集鈔」	20：365	〃
S. 4.10.16	佐藤牧山「木曾紀行」	20：364	〃
S. 4.10.19	珍本全集所蔵「妬婦人伝」	20：364	〃
S. 4.10.29	六樹園「近江県物語」	20：367	〃
S. 4.11.15	「尾張俳書目録」	20：369	〃
S. 4.11. 2	脇阪安宅 <sup>28)</sup> 「歌集藤のうら葉」	20：367	〃
S. 4.12.28	岡本毅堂「聖武記採要」	20：375	〃
S. 4.12.24	近松門左衛門「巢林子時代浄瑠璃集」 (帝国文庫本)	20：374	〃
S. 4.12. 2	近松門左衛門「近松世話浄瑠璃集」 <sup>29)</sup>	20：371	〃
S. 4.12.26	吉井勇「酒ほがい」 <sup>30)</sup>	25：509	書簡集
S. 5. 1.26	「池田炭」 <sup>31)</sup>	20：381	断腸亭日記卷十四
S. 5.正月 14	「詩経」	20：380	〃
S. 5.正月 16	「詩経大雅」	20：380	〃
S. 5. 2. 5	巖谷小波「六十一年行」	25：268	書簡集
S. 5. 2. 4	雑誌「浮世絵志」第14号	29： 29	拾遺：書簡
S. 5. 2. 4	「有喜世新聞」	29： 27	〃：〃
S. 5. 2.20	「紀行文集」(帝国文庫本)	20：388	断腸亭日記卷十四
S. 5. 2. 9	「剪燈余話」	20：384	〃
S. 5. 2.23	近松門左衛門「蟬丸」	20：389	〃
S. 5. 2.20	〃 「続近松浄瑠璃集」 (帝国文庫本)	20：388	〃
S. 5. 2. 5	杜牧の句“絶芸如君天下少聞人似我世 間無”	25：268	書簡集
S. 5. 2. 5	中村敬宇「千字文自伝」	25：268	〃
S. 5. 2.14	野口寧斎「三体詩評釈」	20：387	断腸亭日記卷十四
S. 5. 2. 4	「野辺の夕露」	29： 27	拾遺：書簡
S. 5. 2. 6	「明治大正文学全集」	20：383	断腸亭日記卷十四
S. 5. 3.不	「浮世絵志」	25：269	書簡集
S. 5. 3.不	「有喜世新聞」	25：269	書簡集
S. 5. 3. 5	月刊雑誌「大東文化」	20：390	断腸亭日記卷十四
S. 5. 3. 1	津田青楓「写真板画集」	20：390	〃
S. 5. 3.不	「二代目盛紫の事」(「浮世絵志」第14 号掲載)	25：269	書簡集
S. 5. 3.不	「野辺の夕露」(南葵文庫蔵書)	26：269	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 5. 4. 4	植村正義「蘆洲詩鈔」	20：396	断腸亭日記卷十四
S. 5. 4.12	浄瑠璃「小野道風青柳硯」	20：397	〃
S. 5. 4.26	喜多武清「粉本帖」	20：399	〃
S. 5. 4.22	山地蕉窗「鶴巢嬾稿刪」	20：398	〃
S. 5. 5.不	巖谷小波「還曆賀詞俳句集」	26：485	雑草園其三：序跋其他：楽天居 小波先生還曆賀詞俳句集序
S. 5. 5. 4	紀海音「浄瑠璃集」	20：401	断腸亭日記卷十四
S. 5. 5.31	「婦人公論」四月号	20：405	〃
S. 5. 5.23	松沢雪松「小波先生還曆祝賀句集」	20：403	〃
S. 5. 6.14	紀海音「花山院都巽」	20：406	〃
S. 5. 6.12	「並木宗輔浄瑠璃集」(帝国文庫本)	20：406	〃
S. 5. 7. 5	相馬屋源四郎 <sup>32)</sup> 「紙漉図解」	20：410	〃
S. 5. 8. 4	「近松半二浄瑠璃集」	20：421	〃
S. 5. 9.26	大田蜀山人「蜀山人全集」(新百家説林中)	25：271	書簡集
S. 5. 9.26	大田蜀山人「寐惚先生文集」	25：271	〃
S. 5. 9.26	「花月新誌」	25：271	〃
S. 5. 9.25	佐田白茅編輯「明治詩文」	20：428	断腸亭日記卷十四下
S. 5. 9.26	成嶋柳北「柳北奇文」	25：271	書簡集
S. 5. 9.26	〃 「文芸倶楽部」附録「柳北全集」(明治30年頃)	25：271	〃
S. 5. 9.21	「南園上人詩歌集」再刻	20：427	断腸亭日記卷十四下
S. 5.10.26	上田敏「上田博士著述全集」	20：431	〃
S. 5.10.10	橋南谿「東西遊記」	20：429	〃
S. 5.10. 1	橋守部「蓬萊園の記」	20：429	〃
S. 5.10.21	ジド, アンドレの新著	25：272	書簡集
S. 5.10.19	Le Sage「Gil Blas」	20：430	断腸亭日記卷十四下
S. 5.11.14	袁随園「詩話」	20：435	〃
S. 5.11.15	雑誌「今昔」	20：436	〃
S. 5.11.10	沢木四方吉 <sup>33)</sup>	20：434	〃
S. 5.12.20	浅草法善寺主中山梨軒翁「小自在庵詩歌集」	20：440	〃
S. 6/7.不.不	北原白秋「郷里の町の記事」	25：507	書簡集
S. 6/7.不.不	谷崎潤一郎「麒麟」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	谷崎潤一郎「少年」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	〃 「象」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	山田一夫「亜米利加」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	〃 「鏡」	25：506	〃
S. 6/7.不.不	〃 「年の暮」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	〃 「トルコ風呂」	25：506	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 6/7.不.不	山田一夫「坊主」	25：507	書簡集
S. 6/7.不.不	〃 「穂芒」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	〃 「夢を孕む女」	25：506	〃
S. 6/7.不.不	〃 「和敬庵挿話」	25：507	〃
S. 6/7.不.不	〃 ロチ, ピエール「紐育の記」	25：507	〃
S. 6. 1.28	喜多武清の粉本	21： 6	断腸亭日記巻十五
S. 6. 1.21	「清三家絶句」	21： 5	〃
S. 6. 1. 4	南江二郎「人形芝居」(雑誌)	21： 4	〃
S. 6. 1.28	ロスタン原作「シラノ, ド, ベルジュ ラク」	21： 6	〃
S. 6. 2.21	「紀定丸狂歌集」	21： 10	〃
S. 6. 2.21	成嶋柳北の日誌	21： 10	〃
S. 6. 2. 7	堀口大学訳著「パリュード美装本」	21： 7	〃
S. 6. 2.16	ゴクウル書簡	21： 10	〃
S. 6. 5. 6	「宋賢菊潤遺稿」	21： 20	〃
S. 6. 5. 8	谷崎潤一郎「 <sup>34)</sup>	21： 20	〃
S. 6. 5.13	波多野承五郎「古溪句集」	21： 20	〃
S. 6. 5.29	福本日南「元禄快挙録」	21： 22	〃
S. 6. 5.13	初山梓月「浅草川」	21： 20	〃
S. 6. 5. 2	エックウ「短篇小説集ケルメス」	21： 19	〃
S. 6. 6.11	「回国雑記」	21： 23	〃
S. 6. 6.15	「昆溪百律」	21： 23	〃
S. 6. 6. 7	「続紀行文集」(帝国文庫本)	21： 23	〃
S. 6. 7.10	上田秋成「秋山の記」	21： 27	〃
S. 6. 7.21	大窪詩仏「西遊詩草」	21： 29	〃
S. 6. 7.16	香川景樹「中空日記」	21： 28	〃
S. 6. 7.26	「書物展望」(雑誌)	25：508	書簡集
S. 6. 7.31	頼山陽「山陽詩鈔」	21： 30	断腸亭日記巻十五
S. 6. 8. 6	〃 「書後題跋」	21： 31	〃
S. 6. 8.11	Jean-Desthieux, F. 「Frédéric Mis- tral」 <sup>35)</sup>	21： 31	〃
S. 6. 9.26	堀口大学「ジイト氏の御翻訳」	25：276	書簡集
S. 6. 9.25	バレスの雑録	21： 39	断腸亭日記巻十五
S. 6. 9. 7	Barbusse, H. 「Faits divers」	21： 36	〃
S. 6. 9.18	Barrès, Maurice. 「Le Mystère en Pleine Lumière」	21： 38	〃
S. 6. 9.28	Colette 「La Retraite Sentimentale」	21： 40	〃
S. 6.10.18	岡鹿門「涉史続筆」	21： 44	〃
S. 6.10.15	岡千仞「涉史偶筆」	21： 43	〃
S. 6.10.20	雑誌「書物春秋」 <sup>36)</sup>	21： 44	〃



(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
S. 6.10.22	Collette 「Chéri」	25 : 278	書簡集
S. 6.10.22	〃 「La Retraite Sentimentale」	25 : 278	〃
S. 6.10.27	Harlor, Th. 「Le pot de Réséda」	21 : 47	断腸亭日記巻十五
S. 6.11.26	秋場桂園の詩文, 草稿西遊紀行	21 : 53	〃
S. 6.11.20	「外郎異談」 <sup>37)</sup>	21 : 52	〃
S. 6.11. 6	神代種亮「貞操帯」	21 : 50	〃
S. 6.11.21	雑誌「芸苑」	21 : 52	〃
S. 6.11. 8	佐藤春夫編「雑誌古東多萬」	21 : 50	〃
S. 6.11.21	「萬年艸」	21 : 52	〃
S. 6.11.23	「文選」	21 : 53	〃
S. 6.11. 9	コレット女史「葡萄の艸」(散文詩集)	21 : 50	〃
S. 6.11.24	ジイトの小説「Faux-monnayeurs」 <sup>38)</sup>	21 : 53	〃
S. 6.11.14	ツルゲネフ著, シャアルサロモン新訳 「ツルゲネフ散文詩集」	21 : 51	〃
S. 6.11. 7	Déffoux, Leon. 「Chronique de l' Académie」	21 : 50	〃
S. 6.11. 3	Jaloux, Edmond. 「Perspectives et Personnages」	21 : 48	〃
S. 6.12. 1	「秋田魁新聞」	25 : 279	書簡集
S. 6.12.23	井原西鶴 <sup>39)</sup>	21 : 61	断腸亭日記巻十五
S. 6.12.25	邦枝完二「歌麻呂」	21 : 61	〃
S. 6.12. 3	ジット「賈銭作り」(長篇小説)	21 : 57	〃
S. 6.12.27	バルビュッス <sup>クラルテ</sup> 「光明」(小説)	21 : 62	〃
S. 7. 1.24	岡千仞「尊攘紀事」	21 : 75	断腸亭日記巻十六
S. 7. 1.23	「相馬日記」	21 : 75	〃
S. 7. 2. 2	「江戸名勝図会」第十八冊 <sup>40)</sup>	21 : 80	〃
S. 7. 2.16	岡千仞「蔵名山房雑著」	21 : 83	〃
S. 7. 2.16	岡千仞「尊攘紀事」四冊及補遺二冊	21 : 83	〃
S. 7. 2. 3	雑誌「昂」	21 : 81	〃
S. 7. 2.16	徳富蘇峯「近世日本国民史」	21 : 84	〃
S. 7. 2.16	頼山陽「日本外史」	21 : 83	〃
S. 7. 2.27	マダムコレットの著作選集	21 : 86	〃
S. 7. 2. 8	バルビュス「光明」	21 : 82	〃
S. 7. 3.14	「江戸切絵図」	21 : 94	〃
S. 7. 3.19	大曲駒村「末摘花評釈」	21 : 98	〃
S. 7. 3.28	「改造」誌	21 : 101	〃
S. 7. 3.25	改造社編「現代人名録」 <sup>41)</sup>	21 : 101	〃
S. 7. 3.12	「清俗記聞」	21 : 94	〃
S. 7. 3. 8	谷崎潤一郎「盲目物語」	21 : 92	〃
S. 7. 3.23	「東京名所図会」	21 : 99	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 7. 3. 2	長谷川伸「小猿七之助」	21：87	断腸亭日記巻十六
S. 7. 3.23	「深川区史」	21：99	〃
S. 7. 3.27	正宗白鳥「永井荷風論」 <sup>42)</sup>	21：101	〃
S. 7. 3.22	松村操「実事譚」	21：99	〃
S. 7. 3. 5	三島政行「葛西志」(遺稿)	21：90	〃
S. 7. 3.26	「明治英名伝」	21：101	〃
S. 7. 3.26	「明治文鈔」	21：101	〃
S. 7. 3. 6	靱山梓月「浅草川」(句集)	21：90	〃
S. 7. 3.14	“四谷怪談の狂言”	21：94	〃
S. 7. 3.12	D' Houville, Gérard. 「Jeune Fille (少女)」	21：94	〃
S. 7. 4.27	市川柏庭の日記	21：124	〃
S. 7. 4.27	「老の楽」	21：124	〃
S. 7. 4.13	岡不崩「万葉集草木考」	21：115	〃
S. 7. 4. 3	雑誌「ことたま」	21：107	〃
S. 7. 4.29	渋井清「浮世絵内史」	21：124	〃
S. 7. 4.29	〃 「 〃 」	25：281	書簡集
S. 7. 4.29	「千種の花春雨衣」	25：281	〃
S. 7. 4. 5	「東京名所図絵」	21：109	断腸亭日記巻十六
S. 7. 4.11	深川夜鳥(井上啞々)「裏店日記」	21：114	〃
S. 7. 4.11	〃 ( 〃 )「水難情話」	21：114	〃
S. 7. 4.11	〃 ( 〃 )「出水」	21：114	〃
S. 7. 4.11	〃 ( 〃 )「花火の夜」	21：114	〃
S. 7. 4.11	「文久三年武鑑」	21：114	〃
S. 7. 4.11	雑誌「文明」	21：114	〃
S. 7. 4. 9	「三田文学」	21：111	〃
S. 7. 4.25	「名所方角鈔」	21：123	〃
S. 7. 4. 2	ロチ, ピエール「於菊」	21：104	〃
S. 7. 4.14	ロッチ, ピエール「お梅が晩年の春」	21：115	〃
S. 7. 4.14	ロッチ, ピエール「日本の秋」 <sup>43)</sup>	21：116	〃
S. 7. 5.29	「朝日新聞」雑報	21：137	〃
S. 7. 5. 1	一斎「日光山行記」	21：125	〃
<sup>44)</sup> S. 7. 5.不	井原西鶴	16：436	荷風随筆：正宗谷崎両氏の批評 に答ふ
S. 7. 5.28	大槻如電編「東西年表」	21：137	断腸亭日記巻十六
<sup>44)</sup> S. 7. 5.不	尾崎紅葉「金色夜叉」	16：430	荷風随筆：正宗谷崎両氏の批評 に答ふ
<sup>44)</sup> S. 7. 5.不	「佳人の奇遇」	16：431	〃 : 〃
<sup>44)</sup> S. 7. 5.不	幸田露伴「譚言長語」	16：431	〃 : 〃
<sup>44)</sup> S. 7. 5.不	斎藤緑雨「油地獄」	16：431	〃 : 〃

(昭和)	読書作品 (著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
44) S. 7. 5. 不	「時事新報」	16：430	荷風随筆：正宗谷崎両氏の批評 に答ふ
44) S. 7. 5. 不	滝沢馬琴	16：431	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	谷崎潤一郎 <sup>45)</sup>	16：429	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	為永春水	16：431	〃：〃
S. 7. 5. 29	為永春水「八幡鐘」	21：138	断腸亭日記卷十六
44) S. 7. 5. 不	近松門左衛門	16：436	荷風随筆：正宗谷崎両氏の批評 に答ふ
44) S. 7. 5. 不	「日々新聞」	16：430	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	「春雨物語」	16：431	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	樋口一葉	16：431	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	二葉亭四迷「浮雲」	16：432	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	「今戸心中」(文芸倶楽部)	16：431	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	正宗白鳥 <sup>46)</sup>	16：429	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	森鷗外「雁」	16：432	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	エックター, ジョルヂ	16：432	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	ミストラル, フレデリック <sup>47)</sup>	16：432	〃：〃
44) S. 7. 5. 不	ロチ, ピエール「苦悩する土耳其」と 題する一書 <sup>48)</sup>	16：434	〃：〃
S. 7. 5. 8	Fernandez, Ramon. 「Andre Gide」	21：129	断腸亭日記卷十六
S. 7. 5. 6	Offel, Horace van. 「L, Exaltation」	21：127	〃
S. 7. 5. 19	Souvestre, Emile. 「Un philosophe sous les toits」	21：134	〃
S. 7. 6. 22	天明老人「狂歌江戸名所図絵」	21：141	〃
S. 7. 7. 27	井上啞々「道楽」 <sup>49)</sup>	21：155	断腸亭日記卷十六続
S. 7. 7. 17	荻生徂徠「峡中紀行」	21：147	断腸亭日記卷十六
S. 7. 7. 12	「史記項羽本紀」	21：145	〃
S. 7. 7. 18	「史記」の礼書	21：147	〃
S. 7. 7. 21	「史記」	21：153	断腸亭日記卷十六続
S. 7. 7. 29	十返舎一九「木曾道中膝栗毛」	21：155	断腸亭日記卷十六
S. 7. 7. 19	〃 「膝栗毛」	21：147	〃
S. 7. 7. 10	真山青果「国定忠次」	21：145	〃
S. 7. 7. 21	「和漢三才図会」	21：154	〃
S. 7. 9. 24	岡鬼太郎「あづま唄」	21：167	〃
S. 7. 9. 21	鷲津毅堂「薄遊吟草」	21：166	〃
S. 7. 9. 5	レニエー「L'Escapade」	21：162	〃
S. 7. 9. 12	レニエー「Pécheresse」(罪の女)	21：164	断腸亭日記卷十六続
S. 7. 10. 25	青木錦村「西征詩鈔」	21：179	〃
S. 7. 10. 25	大田南岳「羽田紀行絵巻」	21：179	〃
S. 7. 10. 16	野口米次郎「The American Diary」	21：175	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
	of a Japanese girl]		
S. 7.10.18	ジャルー, エドモン Le jeun homme au masque (仮面 <small>ママ</small> の青年)	21:175	断腸亭日記卷十六続
S. 7.10.7	Mitchell, Donald G. 「Dream Life」	21:170	〃
S. 7.11.1	斎藤昌三の年表	21:180	〃
S. 7.11.1	高木文「小説戯曲年表」	21:180	〃
S. 7.11.26	谷崎潤一郎「刺青」	21:189	〃
S. 7.11.26	山田一夫「短篇小説集夢を孕む女」	21:188	〃
S. 7.11.24	アポリネール「La Femme Assise」	21:188	〃
S. 7.12.10	岩田氏「訳本貞操帯」	21:192	〃
S. 7.12.10	岡鬼太郎「紅筆草紙」	21:192	〃
S. 7.12.27	ジャール, エドモン「Du rêve à la réalité」	21:196	〃
S. 7.12.10	レニエーの画入小伝 <sup>50)</sup>	21:192	〃
S. 7.12.15	Maurois, André. 「Climats」	21:193	〃
S. 8.正月.20	森於菟「時々の父鷗外」 <sup>51)</sup>	21:203	断腸亭日記卷十七
S. 8.正月.17	ドーデ「ジャック」	21:203	〃
S. 8.2.11	安藤次郎「和魯年表稿本」	21:205	〃
S. 8.2.2	「貞操帯」	25:285	書簡集
S. 8.2.16	初山梓月「紅潤集」 <sup>52)</sup>	21:206	断腸亭日記卷十七
S. 8.2.9	Kessel, J. 「La Steppe Rouge (N.R. F. 1922)」	21:205	〃
S. 8.3.22	谷崎潤一郎“「愛すればこそ」の仏蘭西 訳本”	21:209	〃
S. 7.3.24	イバネス「娼女ソニカ」	21:208	〃
S. 8.3.24	Renard, J. 「Histoires Naturelles」	21:210	〃
S. 8.4.不	「青本年表」	15:532	大田南畝年譜
S. 8.4.不	石川雅望「六樹園家集」	15:541	〃
S. 8.4.不	大田南畝「葦の若葉」 <sup>53)</sup>	15:536	〃
S. 8.4.不	〃 「一話一言」	15:527	〃
S. 8.4.不	〃 「浮橋附録記事」	15:540	〃
S. 8.4.不	〃 「虚八百八万伝」	15:530	〃
S. 8.4.不	〃 「江戸花海老」	15:531	〃
S. 8.4.不	〃 青本評判記「岡目八目」	15:531	〃
S. 8.4.不	〃 「改元紀行」	15:536	〃
S. 8.4.不	〃 「返々目出鯛春参」	15:531	〃
S. 8.4.不	〃 「革命紀行」	15:537	〃
S. 8.4.不	〃 「仮名世説」	15:534	〃
S. 8.4.不	〃 「漢国無体此奴和日本」	15:532	〃
S. 8.4.不	〃 「寛政御用留」	15:535	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 8. 4. 不	大田南畝青本評判記「菊寿草」	15：531	大田南畝年譜
S. 8. 4. 不	〃 「杏園閒筆」	15：537	〃
S. 8. 4. 不	〃 「杏園詩集」	15：528	〃
S. 8. 4. 不	〃 「狂歌萬載集」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「仰高日録」	15：535	〃
S. 8. 4. 不	〃 「狂詩諺解」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「京伝一代記」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「金曾木」	15：537	〃
S. 8. 4. 不	〃 「瓊浦雜綴」	15：538	〃
S. 8. 4. 不	〃 「瓊浦又綴」	15：538	〃
S. 8. 4. 不	〃 「源平総勘定」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「甲駅新話」	15：529	〃
S. 8. 4. 不	〃 「向岡閑話」	15：540	〃
S. 8. 4. 不	〃 「寿塩商婚礼」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「才蔵集」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「三餐余興」	15：528	〃
S. 8. 4. 不	〃 狂歌草藁「七七集」	15：545	〃
S. 8. 4. 不	〃 「春夏帖」	15：545	〃
S. 8. 4. 不	〃 「春笑一刻」	15：530	〃
S. 8. 4. 不	〃 「小春紀行」	15：538	〃
S. 8. 4. 不	〃 「松楼私語」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「蜀山集」	15：527	〃
S. 8. 4. 不	〃 「蜀山文稿」	15：529	〃
S. 8. 4. 不	〃 「壬戌紀行」	15：536	〃
S. 8. 4. 不	〃 「壬申掌記」	15：542	〃
S. 8. 4. 不	〃 「親類書」	15：543	〃
S. 8. 4. 不	〃 「石楠堂随筆」	15：536	〃
S. 8. 4. 不	〃 「世説新語茶」	15：530	〃
S. 8. 4. 不	〃 「千紫万紅」	15：542	〃
S. 8. 4. 不	〃 「川柳川傍柳」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「太平楽記」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「種風小野之助拳角力」	15：531	〃
S. 8. 4. 不	〃 「玉川砂利」	15：541	〃
S. 8. 4. 不	〃 「檀那山人芸舎集」	15：532	〃
S. 8. 4. 不	〃 「竹堂手記」	15：537	〃
S. 8. 4. 不	〃 「千とせの門」	15：541	〃
S. 8. 4. 不	〃 「調布日記」	15：540	〃
S. 8. 4. 不	〃 「通詩選笑知」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「手練偽なし」	15：533	〃
S. 8. 4. 不	〃 「藤樹先生譜」	15：533	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 8. 4.不	大田南畝「東遊記叙」	15：531	大田南畝年譜
S. 8. 4.不	〃 「土平伝」	15：528	〃
S. 8. 4.不	〃 「南畝莠言」	15：528	〃
S. 8. 4.不	〃 「南畝叢書」	15：533	〃
S. 8. 4.不	〃 「寐惚先生文集」	15：528	〃
S. 8. 4.不	〃 「年始御礼帖」	15：531	〃
S. 8. 4.不	〃 「巴人集」	15：531	〃
S. 8. 4.不	〃 「巴人集拾遺」	15：540	〃
S. 8. 4.不	〃 「半日閑話」	15：535	〃
S. 8. 4.不	〃 「一もと草」	15：536	〃
S. 8. 4.不	〃 「百鬼夜狂」	15：532	〃
S. 8. 4.不	〃 「深川新話」	15：530	〃
S. 8. 4.不	〃 「福わらい」	15：531	〃
S. 8. 4.不	〃 「望海談」	15：533	〃
S. 8. 4.不	〃 「百舌の草茎」	15：538	〃
S. 8. 4.不	〃 「奴胤」	15：531	〃
S. 8. 4.不	〃 「四方のあか月見の説」	15：530	〃
S. 8. 4.不	〃 「四方の留粕」	15：535	〃
S. 8. 4.不	〃 「四方の巴流」	15：535	〃
S. 8. 4.不	〃 「李不尽通詩選」	15：532	〃
S. 8. 4.12	「岡場所考」	25：288	書簡集
S. 8. 4.不	岡部平二郎「四溟陳人詩集」	15：529	大田南畝年譜
S. 8. 4.不	菅茶山「夕陽黄葉村舎詩」	15：543	〃
S. 8. 4.不	紀ノ定丸「新田通戦記」	15：532	〃
S. 8. 4. 2	佐藤春夫氏父君の著「懐旧」	21：211	断腸亭日記卷十七
S. 8. 4.不	山東京伝「骨董集」	15：543	大田南畝年譜
S. 8. 4.不	志賀理斎「理斎随筆」	15：547	〃
S. 8. 4.不	式亭三馬「式亭雑記」	15：542	〃
S. 8. 4.11	「聖武記採要」	25：287	書簡集
S. 8. 4.不	関根正直「史談俗談」	15：545	大田南畝年譜
S. 8. 4.不	蘇東坡「赤壁の賦」	15：536	〃
S. 8. 4.不	高田与清「擁書漫筆」	15：544	〃
S. 8. 4.不	為永春水「閑窓瑣談」	15：545	〃
S. 8. 4.不	鶴見吐香“大田南畝の伝”	15：547	〃
S. 8. 4.不	手柄岡持「我面白」	15：543	〃
S. 8. 4.不	東湖山人「不二野夫鑑」	15：529	〃
S. 8. 4.不	中根香亭「零碎雑筆」	15：544	〃
S. 8. 4.11	「薄遊吟草」	25：287	書簡集
S. 8. 4.不	畑金雞「燭夜文庫」	15：533	大田南畝年譜
S. 8. 4.16	服部南郭「南郭文集」	21：214	断腸亭日記卷十七

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 8. 4.12	林鶴梁「麻溪紀勝」	25：288	書簡集
S. 8. 4.不	平賀鳩溪「飛花落葉」	15：531	大田南畝年譜
S. 8. 4.不	平秩東作「葦野茶談」	15：535	〃
S. 8. 4.不	森鷗外「伊沢蘭軒」 <sup>54)</sup>	15：539	〃
S. 8. 4.不	横井也有「鶉衣」 <sup>55)</sup>	15：532	〃
S. 8. 4. 9	陸放翁の詩	25：286	書簡集
S. 8. 4. 4	スウヴェストル「屋根裏の学者」	21：211	断腸亭日記卷十七
S. 8. 5.22	成島柳北「柳北文集」 <sup>56,57)</sup>	21：219	〃
S. 8. 5. 4	初山梓月「続紅潤集」	21：216	〃
S. 8. 5.12	Nouët「Le Parfum des Troènes」	21：218	〃
S. 8. 6.23	塩田士鄂「随斎詩鈔」	21：223	〃
S. 8. 6. 2	島田均編「明治百家文鈔」	21：220	〃
S. 8. 6. 2	松本万年編「維新大家文鈔」	21：220	〃
S. 8. 6. 9	Magre, Maurice. 「L'appel de la bête」	21：221	〃
S. 8. 7.16	幸田露伴「洗心黄録」	21：225	〃
S. 8. 7.17	堀口大学「ボードレール感想私録」	21：225	〃
S. 8. 7.25	森潤三郎「紅葉山文庫と書物奉行」	21：226	〃
S. 8. 8. 3	谷崎潤一郎「美装本蘆刈」	21：228	〃
S. 8. 8. 4	〃 「蘆刈」	25：289	書簡集
S. 8. 8.21	水上瀧太郎「貝殻」	21：229	断腸亭日記卷十七
S. 8. 9.11	岡野知十「鶯日」(句集)	21：232	〃
S. 8. 9.15	竹清子編「蜀山人書簡集 <sup>附三和</sup> 年日記	21：232	〃
S. 8. 9.22	松崎慊堂「慊堂日歴」 <sup>58)</sup>	21：233	〃
S. 8. 9.28	森鷗外「伊澤蘭軒伝」	21：236	〃
S. 8.10.不	巖谷小波「黄金丸」	26：162	雑草園其三：新年の雑誌界其 他：小波先生と少年文学
S. 8.10.不	巖谷小波 <sup>とんび</sup> 「鶯 <sup>(ホリヨ)</sup> ホリヨ〜」	26：162	〃 : 〃
S. 8.10.25	月刊雑誌「銀座」	21：254	断腸亭日記卷十七続
S. 8.10.31	「国史大図鑑」明治時代	21：260	〃
S. 8.10.28	謝肇淛「五雜俎」	21：258	〃
S. 8.10.31	「駿河国新風土記」 <sup>59)</sup>	21：260	〃
S. 8.10. 1	高橋邦太郎小説「萎れた花束」 <sup>60)</sup>	21：237	断腸亭日記卷十七
S. 8.10.12	雑誌「長唄の日本」	21：247	断腸亭日記卷十七続
S. 8.10.14	「長唄の日本」	25：289	書簡集
S. 8.10. 8	俳諧雑誌「南柯」“小波先生追悼記念号”	21：243	断腸亭日記卷十七続
S. 8.10.21	「南紀芸術」第九号	25：290	書簡集
S. 8.10.22	雑誌「南紀芸術」第九号	21：252	断腸亭日記卷十七続
S. 8.10.16	西島蘭溪「坤斎詩存」	21：248	〃
S. 8.10.16	長谷川昆溪「寒香園百絶」	21：248	〃
S. 8.10.31	森枳園「いろは字原考」 <sup>61)</sup>	21：260	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 8.10.19	山岡明阿「名物考」	21：251	断腸亭日記卷十七続
S. 8.10.28	「流行歌謡集」	21：258	〃
S. 8.10.29	ゴロウナン「日本観察記」	21：259	〃
S. 8.10.28	Challamel, A.「Histoire de la Mode en France」	21：258	〃
S. 8.10.28	Golovnin「Voyage de M.Golovnin, 2vols.」(1818)	21：258	〃
S. 8.11.17	飯田一畝「古今辞世詩歌集」	21：276	〃
S. 8.11. 2	巖谷撫象「小波遺影」	21：261	〃
S. 8.11. 3	岡鬼太郎「昼夜帯」「もやひ傘」「春色輪柳」「花流三筋の綾」「紅筆草子」「あづま唄」「合三味線」	21：262	〃
S. 8.11.27	「斎藤拙堂文集」	21：282	〃
S. 8.11. 2	雑誌「集古」 <sup>癸酉<sup>62)</sup>五号</sup>	21：261	〃
S. 8.11.12	「奠都三十年祭」	21：272	〃
S. 8.11.28	花笠文京「 <sup>六十</sup> 漬物塩加減」 <sup>63)</sup>	21：282	〃
S. 8.11.12	「百家説林卷六」	21：273	〃
S. 8.11.12	「松平直政伝」	21：273	〃
S. 8.11. 1	エリセエエフ「現代日本文学略志」 <sup>64)</sup>	21：260	〃
S. 8.11.18	ゴロウニン「日本紀行」	21：277	〃
S. 8.11.16	〃 「日本幽囚記」	21：275	〃
S. 8.11.24	〃 「松前日誌」	21：280	〃
S. 8.11.15	ロチ, ピエール「L'Exilée」	21：274	〃
S. 8.11. 1	Betz, Maurice.「Neuf nouvelles japonaises」	21：260	〃
S. 8.11. 1	Elisséf Serge.「Panorama de la littérature contemporaine au Japon」	21：260	〃
S. 8.12. 2	岡野知十の遺集「鶯日」	21：284	〃
S. 8.臘月.不	邦枝完二「おせん」	26：486	雑草園其三：序跋其他：邦枝完二作小説おせん序
S. 8.12. 6	〃 「 〃 」	21：286	断腸亭日記卷十七続
S. 8.12.29	森鷗外「鷗外全集補遺」 <sup>65)</sup>	21：295	〃
S. 8.12.17	森潤三郎編「鷗外遺珠と思ひ出」 <sup>66)</sup>	21：292	〃
S. 8.12.28	山崎美成「世事百談」 <sup>百家説 林本</sup>	21：295	〃
S. 8.12. 2	Duhamel, Georges.「深夜の懺悔」	21：284	〃



## 注

- 1) 上田敏の文学研究者としての姿勢を、荷風はよく理解していた。
- 2) 昭和2年10月稿
- 3) “震災の惨状を記述した当時の文献の中でわたくしの特に珍重して描かざるもの”
- 4) 昭和2年11月稿
- 5) “省噪と題した絶句”
- 6) 慶応義塾に学んだ万太郎の作品の質は、荷風から万太郎へという線が考えられるものである。
- 7) 広範な読者層を持つ、この女流作家の代表作は、パリ生活がもっともよく描かれたもののひとつである。
- 8) “二人の小説家と題せられし短篇小説集”
- 9) “元治元年の夏北越旅興行の折書きたるもの。其角堂宗匠の序跋あり” 自筆本
- 10) “著述年譜”
- 11) “鳩谷は出雲侯松平出羽守の儒臣宝暦頃の人なり”
- 12) “講談倶楽部出版書肆の黄告新聞なり”
- 13) “文化十二年冬千住の酒店中六にて催されし酒戦の記の草稿なり”
- 14) “明治三十年代に長田秋壽が紹介”
- 15) “飯田旗軒が紹介”
- 16) “明治三十年代に長田秋壽が紹介”
- 17) パリのドミ・モンデースを描いたこの作品は、荷風が若い時から繰り返し愛読したものである。
- 18) “森田思軒が翻訳”
- 19) “川柳末摘花の評釈”
- 20) “明治十二年五月出版”
- 21) “大坂太陽堂発行”
- 22) “明治四十年出版”
- 23) “1717年の版”
- 24) “某氏の著。東条琴台の伝。巻首に鷗外先生の題詩を載す。”
- 25) アンリ・ド・レニエがもっとも愛した都市、ヴェネツィアを題材とした作品は、荷風の繰り返し読んだ作品群のひとつである。
- 26) “北総飯沼の詩人高信齋が社中の詩を集めたるもの”
- 27) 昭和24年4月2日発表
- 28) “龍野藩主”
- 29) “明治廿年頃武蔵屋発行の活版本”
- 30) いわゆる遊蕩文学をあるいみで詩の神髓とみる荷風であった。
- 31) “晋子其角自筆の点評あり、大名か又は旗本らしき人の其家臣を集めて附合をなしたるもの”
- 32) “牛込肴町紙問屋の主人”
- 33) “ニイチエに関する論文を当時創刊の「三田文学」に寄せられたり。”
- 34) 谷崎を見出した荷風ではあるが、二作家の素質は全く異なる。しかし谷崎の構想力から逆に荷風が学んだものは小さくはなかった。
- 35) “ミストラルの評伝”
- 36) “本間某が明治初年の出版物に関する論文”
- 37) “名古屋汲古会出版”
- 38) アンドレ・ジッドの『Faux monnayers』（『にせ金つかい』）は、小説技法上、『溼東綺講』への影響が大きいといわれている。
- 39) “八文字屋の浮世草子”
- 40) “砂村元八幡宮の図”
- 41) “故人早川千吉郎の略伝”
- 42) 自然主義派の論客、白鳥の冷徹な評論は、荷風自身、かなり肯けるものを持っていたといえよう。
- 43) ピエール・ロティの日本を舞台とした作品を繙くと、必ず二、三編は続けて読む荷風であった。
- 44) 昭和7年3月30日稿
- 45) “わたくし〔荷風〕の小説について長文の批評を雑誌改造に載せられた”

- 46) “中央公論四月号に永井荷風論と題する長文を掲載”
- 47) 文化の多様な伝統を考えさせられるミストラルへの長年にわたる荷風の関心がある。
- 48) トルコは荷風の考える好ましい国のひとつであった。ロティを通して見たトルコへの関心も深い。
- 49) “明治三十六年八月大学館より出せしものなり”
- 50) アンリ・ド・レニエの高踏的な態度、その格調の高さは荷風の関心をそそるものであった。
- 51) “中央公論正月及二月号所載”
- 52) “其門下の俳句をあつめ一卷となして上梓す”
- 53) 大田南畝への傾倒振りは、荷風の文学観を如実に示している。
- 54) 荷風の歴史小説の理想とするスタイルがここにみられる。
- 55) 荷風の理想とする文体である。
- 56) “活版本にて明治四十三年の刊行なり。時文大観第四編とありて非売品と奥書あり。”
- 57) “柳北先生襟録集明治十八年四月改進黨刊行ノモノ別ニアリ昭和十四年之ヲ獲タリコムニ補記ス” と欄外朱書あり。
- 58) “活版本にて浜野知三郎氏編纂なり”
- 59) “発行所 静岡市井ノ宮町七十二番地 志豆波多会”
- 60) “昨日より国民新聞夕刊紙上に連載すと云ふ。”
- 61) “西八丁堀三丁目文祥堂発行”
- 62) “今年の秋盛に流行せし東京音頭の事につきて云へる文”
- 63) “明治十八年出版兎屋梓”
- 64) “谷崎氏作愛すればこそ仏蘭西訳本巻末にあり。”
- 65) “入沢博士の編輯する所。巻首に木下杢太郎の森鷗外の伝あり。”
- 66) “昭和書房刊”